





≪集計結果から≫

学校評価アンケートは、どの項目も1~4段階の評価によるもので、上記のグラフは各質問項目にいて「そう思う」「どちらかというとそう思う」と肯定的な回答をした割合を示しています。

生徒のアンケート結果では、「良好な友人関係」の項目において、昨年度より高い値となっています。「勉強がわかる」、「勉強が楽しい」の項目では、今年度はやや値が低下しましたが、年々その割合が上昇しており、学習への理解や意欲の向上が読み取れます。逆に、「家の人との会話」の項目では、年々その割合が低下しています。保護者アンケートにおいても、「きちんとした生活習慣」の項目が年々低下しており、就寝、起床、食事の時間のリズムが定まっていないと感じている保護者が多くなってきていることがうかがえます。

今年度は、保護者アンケートにおける「ご家庭で、学校だよりや学年・学級だよりを読みますか」という問いに対して、肯定的な回答の割合が大きく上昇しました。今年度途中より、学年便り、学校だよりの一部を「すぐーる」で配信したことが要因の一つだと考えます。アンケートにおいて、本校の教育活動や小中ー貫教育の在り方に関するご意見等をいただきました。小中一貫教育校の特徴を示しながら、生徒の郷土への想いや「生きる力」の向上に向けて生徒・保護者の意見に耳を傾け、安心・安全な学校生活を築いていけるよう教職員一同、努力してまいります。